

発行日/2021年2月25日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info



みみよい

53

ごあいさつ

折出 秀人

1日の寒暖差が大きく、体調を整えることが難しい日々となっておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルスが国内で初めて確認されてから1年がたち、私たちの生活も変わってまいりました。このコロナ禍において、講演会や交流会、研修会や会議のほとんどがWEB開催となり、感染対策をしながらどのような情報発信をすればよいのかを考え、取り組んできた日々でした。

例えば、「みみサロン」をユーチューブによる動画配信に変更。事前に動画を作り、参加希望の方へは動画のURLをお送りし、当日にご覧いただきました。

以前から、センターで作った動画は、どなたでも自由に、いつでも見ていただけるようにユーチューブにアップをしていましたが、まさか、感染対策としてユーチューブ等のICT(情報通信技術)を活用することになるとは思いもしませんでした。

今後も、このようなICTを活用した迅速な情報提供ができるようにしていきたいと考えています。



「おうち時間」に手話カルタ

新型コロナウイルスの感染者数は減ってきたものの、外出機会をできるだけ減らす生活は、まだしばらく続きそうです。そんな「おうち時間」に取り入れていただきたいのが「手話いろはカルタ」。カルタとして遊べるのはもちろんのこと、手話学習の教材にもなります。

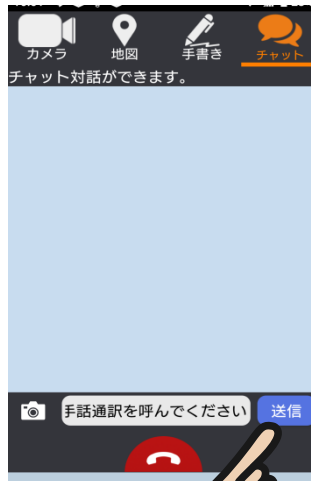
このカルタ、実は1983年に第1版が発行されています。当時の聞こえない方々の暮らしや文化を描いたものでした。約40年が過ぎ、社会状況も変化したため、「歌」を過半数入れ替えての発行となりました。ほのぼのとした版画調の絵札には、聞こえない方々の切実な想いが詰まっています。

「この絵の意味は何だろう?」、「読み札の文をどう表現しようか?」。手話を学習しておられる方には、ぜひ、活用していただきたい逸品です。センターに案内チラシも配架しています。実物もあるので、興味をお持ちの方はお声かけください。



休日・夜間の救急時派遣

今年度から、センターの業務時間外となる午後5時半〜翌日9時、日曜・祝日、年末年始に救急指定病院に搬送される場合、手話通訳者・要約筆記者の派遣依頼を受け付ける窓口を開設しました。聞こえない方やご家族からは直接依頼ができませんので、NET119などで救急通報をするときに「通訳者が必要」と伝えてください。



もじサロン 筆談会の部



1月に発令された緊急事態宣言のため、2月・3月は残念ながら中止になってしまいました。

来年度、再開の目途が立ちましたら改めてお知らせいたします。また一緒におしゃべりしましょう！

貸出・お試し可能な機器が増えました

マスクの着用が日常になり、「声が小さくて聞こえない」、「口の形が見えない」など、聞こえない・聞こえにくい方にとって、コミュニケーションがますます困難な状況になっています。

センターでは、聞こえをサポートする機器や、音声を文字化するアプリ・機器の貸出をしています（一部、センターでのお試しのみ）。今年度、開発企業のご協力を得て、貸出・お試しできる機器が増えたので、改めてご紹介します。ご利用ください。貸出期間は1週間です。

※ 貸出・お試しの際は、事前にご連絡の上、来所日のご予約をお願いします。

それぞれの機器は1台のみとなっております。余裕をもってご予約ください。

お試し

骨伝導集音器「Vibone Nezu」

ソリッドソニック株式会社から長期の貸出を受け、みなさまにお試しいただく準備が整いました。

録音した自分の声を聴き、普段、自分が聞いている声とは違うと感じたことはありませんか？ これは、耳から入る音のほかに、自分の声が頭蓋骨を通じて伝わる「骨導音」を聞いているためです。

「Vibone Nezu バイブーン ネズ」は、耳の軟骨から音を伝える集音器。「骨導音」を直接、聴神経に伝える仕組みになっています。会話だけでなく、スマホやパソコンとケーブルでつないで聞くこともできます。

難聴のタイプによっては、「聞こえ」が楽になるかもしれません。

ソリッドソニック株式会社

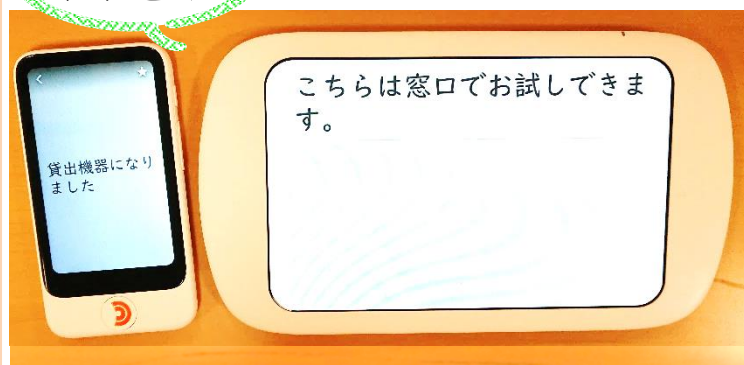
TEL：03-6300-9936／078-200-6389（平日 10時～17時）

FAX：078-806-8652（24時間受信可能）



貸出

AI ボイス筆談機「ポケットク mimi」



0 5 cm 10 15 20 25 30

左：ポケットク mimi 右：タブレット mimi

「みみより52号」でご紹介した「タブレット mimi」。ソースネクスト株式会社からお借りして、3月末まで窓口で体験していただけます。今回、新たに持ち運びに便利なサイズの「ポケットク mimi」の寄贈を受け、貸出機器として利用させていただくことになりました。

ボタンを押している間の音声を文字に変換してくれるので、話す相手に渡して使ってもらおうといいですね。センターで使い方の練習をしたあと、受診時などにご活用ください。

お試し

音を体で感じる「Ontenna」



これまで聞こえのセミナーや障害者週間フェスティバルなどで体験会でご紹介してきた「Ontenna」。機能の紹介ビデオを設置。いつでも体験していただけるようになりました。音のリズムや強弱を光と振動で感じられる機器です。音楽の授業で困っている方、フィットネスクラブなどをご利用の方は、ぜひお試しください。

このほか、下記の機器を貸出しています

フェーストーカー



1対1の対話場面で使用。離れた場所で話しても、耳元で聞き取れます。雑音も入らず、話し手の声だけが聞こえます。また、自分の声も聞こえるので、話がしやすくなります。

助聴器



電話のように耳に当てて使うタイプです。イヤホンを使うとより聞き取りやすくなります。周囲の雑音も拾ってしまいがちですが、ダイヤル操作だけで電源オン・オフと音量の調整ができるので、手軽に使えます。

対話くん



1対1の対話のほか、電話やテレビの音をマイクで拾って聞くこともできます。別売のマイクを使えば、複数の方との対話も可能。コンパクトなので、持ち歩きにも便利です。

サウンドアシスト

テレビやオーディオなどの音を聞き取りやすくするお手元スピーカー。ワイヤレスなので、テレビから離れた場所でも使えます。「はっきりモード」を使うと、より聞き取りやすくなる方も。



ベルマンドミノクラシック



1対1または複数での対話の場面で使用します。離れた場所で話しても耳元で聞き取れます。モード変更で、近くの音・遠くの音の両方を聞き取ることができます。

ボイスルーラー



難聴になると自分の声も聞こえにくくなり、大声になってしまったり、逆に小声になりすぎたりします。ランプの色で声の大きさがわかるので、場面に合わせて声を調整できます。

下記の機器は センターでお試しできます

UDトーク



スマートフォンやタブレットにインストールして使うアプリ。音声をすぐに文字に変換してくれます。会話はもちろん、字幕や会議録づくりなど、様々なシーンで使えます。

Mリンク



テレビやオーディオなどのイヤホンジャックにつなぎ、周囲の雑音をカットして聞くことができます。

※補聴器利用の方のみ。
「Tコイル」への切り替えが必要です。

シルピカ



ドアチャイム、FAXの着信音などの生活音を光で知らせてくれます。「日常生活用具」なので、聴覚の身体障害者手帳をお持ちの方は区役所でご相談を。

振動体温計



お出かけ前の検温は習慣にしたいもの。振動と音で計測終了を知らせてくれる体温計は、電子音が聞こえなくなった方にお勧めです。数字も大きくて見やすい仕様です。

手話奉仕員・通訳者養成講座

オンラインでも頑張っています

緊急事態宣言のため、市民向け講座は中止、手話通訳者養成入門コースは延期になりましたが、手話通訳者養成講座の3課程はオンラインで継続しています。Zoomを使うのは初めてという方が多い中、みなさん、頑張ってお課題に取り組んでいます。

要約筆記者養成講座

1年目のカリキュラム終了！

今回は2年コースの講座。後半の座学はリモートになりましたが、Zoomにも慣れ、和気あいあいと進みました。5月まではお休みで、次年度は実技が中心になります。学んだことを忘れないよう、日々、研鑽を続けてください。

センターの行事

行事はすべて、お申し込み制となっております。また、当日は検温とアルコールでの手指消毒にご協力いただいております。体調不良の方は、ご参加をご遠慮願います。

3月12日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※要事前予約

※ 来年度は5月より開催します。

3月13日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※要事前申込

※ 社会状況により、オンラインでの開催となる可能性があります。

例年3月に、開催しておりました「難聴児親子交流会」は、中止させていただきます。

4月17日(土)「春のプラザまつり」を開催します。バリアフリー映画上映会、車いすバスケの体験会など、様々な企画をご用意しております。

2階ロビーでは、午後1時~1時45分に「絵本の読み聞かせ会」を開きます。みなさまのご参加をお待ちしております。

※ 事前申込制・定員20名

ビデオライブラリーのおすすめ

「ハートネットTV もう一人の演者
~舞台手話通訳 米内山陽子さん~」

演劇の作品内容を手話で伝える舞台手話通訳者。聞こえる人、聞こえない人が共に演劇を楽しむために奮闘する、第一人者の米内山さんの挑戦を追います。

「バリバラ 震災からいのちを守る」

東日本大震災から7年。災害時、障害者など支援が必要な人たちへの対策は、どこまで進んでいるのか？

南海トラフ地震で大きな被害が予想される高知市では、支援が必要な人の個別計画の策定率はまだ1%未満。自力で避難計画を作り始めた人もいます。大阪では、「外出先で被災したらどうしよう？」という当事者の声をもとに、ユニークなプロジェクトが始まりました。いざというとき、どう命を守るのかを考えます。

頑張っています 手話通訳・要約筆記者登録者

実施済

登録者合同研修 1/26「コロナ禍での対人援助を考えよう」

手引き研修 1/30「コロナ禍での盲ろう者支援」

手話通訳者実技研修 2/6「聞き取り通訳」

※ 要約筆記者研修(手書) 2/2は中止になりました

今年度はオンラインでの開催が中心となり、慣れない環境の中、ご参加くださりありがとうございました。

令和3年度継続登録者説明会は、3月27日(土)の予定です。詳細は、別途ご案内いたします。

事業状況		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
12月	派遣数	167件	15件	26件	3件	11人	36本
	派遣人数	175人	29人	38人	10人	新規登録者：0人	
1月	派遣数	153件	24件	14件	1件	3人	14本
	派遣人数	156人	37人	15人	4人	新規登録者：1人	

